

空社研 夏季研修会を終えて

去る7月27日（火）空社研主催の夏季研修会を開催しました。今年度もコロナ禍の中、会としての活動が思うようにできない日々が続きましたが、この時期、幸運にも空知では感染症が小康状態となり、開催にこぎ着けることができました。

研修会では、三笠市のジオパークと砂子炭鉱三笠露天掘りの現場見学をメインに、20名を超える教職員のみなさんにご参加をいただきました。30度を超える猛暑の中でしたが、石炭を軸にして自然と歴史、そこにある人々の営みを直に見聞きし学ぶことができました。

久しぶりのフィールドワークに参加して、感動したこと2つを記したいと思います。

1つ目の感動、それは石炭が私たち空知の地で採掘できるということは、長い年月の中で奇跡がいくつも重なった結果だったということです。石炭は、主に河川周辺の湿地に生息していた植物が地層中に埋没して、長い時間をかけて高い温度と圧力によって変質した燃える岩石です。三笠周辺地域では、約5,000万年前の川底に積もった地層から石炭が産出します。地層は主に川や海など水の中で砂や泥が積もって形成されますが、その時はほぼ水平です。しかし、大地は少しずつ動いており、その動きによって長い年月をかけて垂直になるまで地層が押し曲げられ、この付近の地層はほぼ垂直に立っています。こうした地殻変動がなければ、私たちの身近に石炭が出土することもなかったのです。

2つ目の感動、それは石炭を今も採掘している砂子組の企業としての姿です。砂子組では、三笠で石炭の露天掘りを行っており、採炭された石炭は火力発電に利用されています。三笠の石炭も、主に発電所で利用されており、電気として姿を変えて私たちの生活の中で活用されています。東日本大震災の影響により、原子力発電所が停止しているため、現在、日本では、火力発電の割合が増えており、発電における石炭の需要が増えています。

砂子組では、約150ヘクタールにおよぶ広大な土地で、巨大重機を使い年間15万トンの石炭を生産しているとのことでしたが、露天掘りが終了した後は、そこを埋め戻して元通りに復元するという事です。それも、元々の植生と同じように緑化復元を行っているそうです。石炭という大地の恵みをいただく、そして自然を少しも損なうことが無いように、そしてまた、一件の事故もないように細心の注意のもとで作業が進める・・・そうした砂子組さんの企業理念に大きく心を動かされました。石炭等の化石燃料は、二酸化炭素の排出と地球温暖化という大問題の中で、現在大変厳しい状況におかれています。しかし、胆振東部地震のブラックアウトの時に大活躍したのが、この石炭と石炭発電所でした。今の露天掘りの採炭は、今後5年ほどで終了の予定だそうです。しかし、北海道には、まだ91億トンの石炭が埋もれているということです。新しいイノベーションが今後、この石炭に新たな活躍の場を与えてくれる、そんな未来を願わずにはられません。

おわりに、この会報がみなさんの手に届く頃は、2学期がスタートしていることでしょう。コロナ禍を見据えながらの教育活動には変わりないと思いますが、私たち教職員のネットワークを活かし、こと社会科だけに限らず、多くの事例を共有しながらポストコロナの学校づくりに努めて行きましょう。会員一人一人の健闘を心から祈念いたします。



令和2年度 空知社会科教育研究会 事業・決算報告

○ 令和2年度 事業報告 ○

令和2年

- 6月 20日(木) 令和2年度空知社会科教育研究会総会(紙面提案)
 8月 1日(木) 会報No.61の発行
 11月 19日(木) 研究授業(オンライン開催)
 中学校 歴史的分野『今につながる文化の芽生え』(室町文化)
 授業者:岩見沢市立緑中学校 山本 アトム 教諭
 11月 20日(金) 第75回北海道社会科教育研究大会 上川大会
 ※公開授業(YouTubeによる配信)
 中学校歴史部会 研究協議参加(事務局長)
 11月 末日 第75回北海道社会科教育研究大会 責任提案(紙面提案)

令和3年

- 1月 7日(木) 第75回北海道社会科教育研究大会 上川大会
 ※公開授業(YouTubeによる配信)
 小学校6年生部会 研究協議参加(事務局長・研究部長)
 1月 8日(金) 小学校4年生部会 研究協議参加(事務局長)
 5月15日(土) 北海道社会科教育連盟総会(会長・事務局長参加) 書面協議
 6月 9日(水) 空知管内教育研究団体連絡協議会 運営研修会 総会・研修会(事務局長参加) 書面協議

○ 令和2年度決算報告及び監査報告

【収入の部】

項目	予算	決算	増減	備考
繰越金	11,590	11,590	0	
会費	30,000	32,000	2,000	2,000円×16
雑収入	3,410	0	▲3,410	研究団体協賛金返金(今年度は積立金からなし)
貯金利子	0	0	0	
合計	45,000	43,590	▲1,410	

【支出の部】

項目	予算	決算	増減	備考
庶務費	10,000	15,201	▲5,201	郵送料・封筒
研究費	20,000	0	20,000	北海道社会科教育連盟 負担金
事業費	10,000	0	10,000	視察先謝礼・講師謝礼・研修会議費
広報費	5,000	5,000	0	会報印刷費等
合計	45,000	20,201	24,799	

収入 43,590円 - 支出 20,201円 = 23,389円
(残金 来年度へ繰り越し)

本会の会計に関する帳簿、領収書、預金通帳ほか、関係書類を厳正に監査した結果、会計の処理が適正になされ、金銭の出納状況が正確であることを認めます。

令和3年3月31日

監査 深川市立北新小学校 校長 千石 正巳
 監査 月形立月形小学校 教頭 箕田 裕

令和3年度 空知社会科教育研究会推進計画

今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため、書面提案にて総会が開催され、令和2年度の事業報告および決算報告、並びに令和3年度事業計画・予算案・役員選出等が決定しましたので、お知らせします。

○ 令和3年度 空知社会科教育研究会役員 ○

顧問	佐野 博之	國學院大学北海道短期大学部
顧問	春田 淳一	國學院大学北海道短期大学部
顧問	岸下 秀一	空知校長会 事務長
顧問	中井 清一	深川市教育委員会
会長	喜多 慎治	岩見沢市立中央小学校
副会長	有村 宏紀	芦別市立芦別小学校
	千石 正巳	深川市立北新小学校
監査	富樫 孝行	赤平市立赤平中学校
	箕田 裕	月形町立月形小学校
事務局長	鹿糠 昌弘	美唄市立美唄中学校
事務局次長	福井 雄也	岩見沢市立光陵中学校
研究部 部長	成田 照行	岩見沢市立緑中学校
	副部長 佐光 力	妹背牛町立妹背牛中学校
	部員 遠藤 悦子	岩見沢市立岩見沢小学校
	部員 鍋城 佳孝	砂川市立砂川中学校
	部員 伊藤 淳子	滝川市立明苑中学校
	部員 山本 アトム	岩見沢市立緑中学校
	部員 菅田 藍人	岩見沢市立栗沢中学校

○ 令和3年度 研究計画 ○

研究主題

空知の恵みを糧に主体的・創造的にかかわろうとする子どもの育成

研究副主題

未来を切り拓く資質・能力を育む社会科学習

研究仮説

①地域素材を教材化することにより、子どもの学びに向かう意欲を高め、主体的・創造的に社会と関わろうとする子どもが育つであろう。

②問題解決的な学習を展開することにより、子どもの社会的事象に対する見方や考え方が深まり、主体的な学びを構築することができるであろう。

③単元や本時における身に付けさせたい知識・技能を明確にし、それを活用する場をつくることにより、確実な定着を図ることができ、主体的な学びを実現することができるであろう。



・学びの意欲を高める地域素材・教具の工夫
・社会参画意欲を高める、地域資源の発掘



・解決の必要感が生まれる導入のあり方
・動機付けや表現を促す単元構成
・多様な考えを生む学習問題
・問題解決的3つの「場」（問いを生む場、多様な考えをつなぐ場、見方や考え方を確かにする場）の構成
・「問題」「課題」「自力解決」「学び合い」「まとめ」「振り返り」の学習過程
・「見方や考え方」の変容を促す発問の工夫



・つきたい力の明確化
・単元や本時で主体的に調べる活動と知識や技能を活用する場の設定

○ 令和3年度 事業計画 ○

1 令和3年度 空知社会科教育研究会 研修会総会の開催

※新型コロナウイルスの感染予防のため、書面提案

2 研修会の開催

(1) 夏季研修会 (参加者 23名)

期 日：令和3年7月27日 (火)

場 所：三笠市立博物館 (野外博物館)、砂子炭鉱露天坑、旧幌内変電所

(2) 研究授業 9月末 (予定) 場 所：岩見沢市立緑中学校

(地理的分野1年) 授業者：成田 照行 教諭

(3) 教職員バスツアー (札幌地区と合同開催) ※札幌駅および岩見沢駅から無料バスを運行します。

期 日：令和3年11月6日 (土)

場 所：視察 月形樺戸博物館、三笠市立博物館 (野外博物館)

フォーラム 三笠市民会館 (講師 下村 圭 様)

(講師 鹿糠 昌弘)

※教育に関係する方ならどなたでも参加できます。

ぜひ、参加ください!

詳細は後日各学校あてに「ちらし」を配布します。

3 会報・各種案内の発行

会報No.62号 (8月16日発行予定)

4 各研究会への参加

○北海道社会科教育連盟

～第76回北海道社会科教育研究大会 (札幌大会) ※紙面提案 (予定)

期 日：令和3年10月30日 (土)

場 所：ホテルライフオート札幌

定 員：60名 ※Zoomによるオンラインでの参加も可

○ 令和3年度 会計予算 ○

【収入の部】

項 目	2年度決算	3年度予算	備 考
繰越金	11,590	23,389	
会 費	32,000	30,000	2,000×15
雑収入	0	1,611	積立基金 貯金利息 等
合 計	43,590	55,000	

【支出の部】

項 目	2年度決算	3年度予算	備 考
庶務費	15,201	10,000	用紙、封筒、郵送代、事務用品等
研究費	0	20,000	負担金 (北海道社会科教育連盟)
事業費	0	20,000	視察先謝礼・研修会会議費
広報費	5,000	5,000	会報印刷費等
合 計	20,201	55,000	